

# 国分寺学 授業実践モデル 第4学年

## 1 単元名

「国分寺のよさをつたえよう」(全35時間扱い)

## 2 単元の目標

- ・国分寺市の特徴やよさを知り、交流や調べ学習を通して、国分寺市をよりよくしようとする地域の人々の思いや願いについて気づき、それらを広める方法を考えて課題を解決することができる。
- ・自分たちができることを考え、他者（友達）の意見を聞くことで、共通点や相違点を出し合い、協力して課題解決に取り組むことができる。
- ・国分寺市のよさを広めるための方法や計画を立て、発信することを通して、地域のために自分自身が、何ができるかを考えることができる。

## 3 本単元で育成を目指す資質・能力

【課】課題解決力	【コ】コミュニケーション力 協働力	【社】社会参画力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺市をよりよくしようとする地域の人々の思いや願いについて気づく。</li> <li>・調べた情報を整理し、国分寺市の良さを考えるとともに、それらを広める方法や計画を立て、様々な方法で解決する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者（友達）の意見を聞くことで、共通点や相違点を出し合い、協力して課題解決に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺のよさを広めるために、自分たちができることを考える。</li> </ul>

## 4 単元の指導計画と評価計画（全35時間）

時	学習過程	◆目標 ○学習内容	単元で育成を目指す 資質・能力			地域資源との関連
			【課】	【コ】	【社】	
1 ～ 2	課題設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東京・国分寺市のよさを改めて知り、それらを発信していくという単元のねらいを知る。第一次として国分寺市のよさをまとめるという課題を把握する。</li> <li>○3年生の国分寺市についての学習や普段の生活を思い起こし、国分寺市のよさを書き出す。</li> </ul>	○			
3 ～ 6	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の知る国分寺市のよさを補足するような情報を収集する。</li> <li>○インターネットや関連誌などを用いて情報を収集する。</li> </ul>	○			

7 ～ 8	整理・分析	◆収集した情報を整理し、どのようなまとめにするか決める。 ○得た情報を共有したり、どのようなまとめにするか考えたりする。	○	○	○	
9 ～ 14	発信・実行	◆自分たちの知る国分寺市のよさについてまとめたり、お互いに紹介し合うったりする中で、国分寺市のよさについて気付く。 ○ワークシートにまとめ、お互いに紹介し合う。		○	○	
15 ～ 17	課題設定	◆第二次として、国分寺市のよさについて詳しく知り、発信していくという課題を把握する。 ○第一次でまとめた中で、さらに詳しく知りたいこと・発信したいことを考え、課題を決める。	○			
18 ～ 22	情報収集	◆こくベジについて情報を収集する中で、関わる人々それぞれの思いに気付く。 ○インターネットや関連誌で調べたり、国分寺市の産業にかかわる人（農家、こくベジ便など）の話を聞いたりする。	○			①
23 ～ 24	整理・分析	◆収集した情報や関わる人々の思いや願いをもとに、こくベジについて、よさを伝え広めていくための計画を立てる。 ○地域や保護者に向けて、こくベジについて発信するため、どのような取り組みができるか話し合う。	○	○	○	
25 ～ 35	発信・実行	◆こくベジのよさを知ってもらう「こくベジフェス」を実践することを通して、地域社会への参画意識を高める。 ○「こくベジフェス」を実践する。また、実践を振り返り、感じたことや反省点などを共有する。		○	○	①②

**その他（教科等横断的な取組、関連単元や教科 等）**

社会科「東京都の特色ある地域の様子」

国語科「クラスみんなで決めるには」「調べて話そう、生活調査隊」

## 5 本時（全35時間中の第23時）

### （1）本時の目標

こくベジの良さを多くの人に発信する方法について、理由や根拠を示しながら話し合い、それぞれの意見を比較することを通してより良い方法を見出すことができる。

### （2）本時の展開

	時間	○学習内容 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 配慮事項	評価規準 【】 関連する資質・能力
導入	5	○前時までの学習を振り返る。 ○本時の課題を確認する。	・前時までの学習において、「こくベジ」の良さについて調べたことを振り返る。	
こくベジの魅力を広める方法を考えよう。				
展開	35	○グループで役割を意識しながら考えをまとめる話し合いを行う。 ・直接読んでもらえる新聞がよい。 ・たくさんの方が目にするところにポスターを張る。 ・こくベジガイドをする。 ・実際にこくベジを販売して、多くの人に食べてもらう。  ○それぞれの方法を比較し、良さを合わせる方法についても考える。 ・販売をする際、ガイドもするのはどうだろう。 ・販売会を事前にポスターで宣伝するとよい。  ○話し合ったことをもとに、どの方法を選ぶべきか考える。	・それぞれの方法に対して意見を板書する際には、メリット、デメリットが分かるように整理する。  ・グループで話し合う時間を確保し、今まで出た友達の意見を参考にしながらより良い方法について考える。  ・考えをまとめる段階では、それぞれの考えの良さに着目できるようにする。	【社】 こくベジの良さを広めるために、自分たちができていることを考えている。 (発言・ワークシート)  【課】 こくベジを多くの人に効果的に発信する方法について話し合い、これまでの経験や友達の意見などを根拠として、よりよい方法を考えている。 (発言・ワークシート)
まとめ	5	○学習を振り返り、次時の見通しをもつ。		

6 地域にある様々な資源と活用することで期待される効果  
(人材, 協力者, 公共機関, 民間企業, 施設, 団体 等)

番号	人材, 協力者, 公共機関, 民間企業, 施設, 団体 等	活用することで期待される効果
①	小坂農園	こくベジ、国分寺市の農業の特徴について学ぶことができる。販売会の協力が得られる。
②	保護者、地域の方々	相手意識をもつことで発表内容が明確になる。学習後のつながりができることで、自分たちが発信・実行したことが効果的であったかを振り返ることができる。